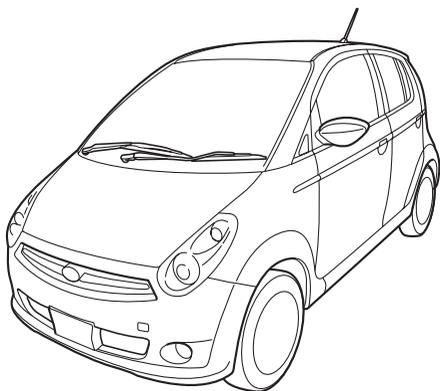


## このたびは「R2」を お買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は車両の取り扱いかたについて必要事項・重要事項をご説明しています。安全で快適にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。また、法律で使用者に点検・整備の義務が規定されており、使用者の保守管理責任がうたわれております。別冊の「メンテナンスノート」と併せてお読みください。



- ・ 交通ルール・マナーを守り運転しましょう。
- ・ 自然環境保護にも気をくばりましょう。
- ・ スバル販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ・ 保証内容および点検整備については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- ・ 取扱説明書は「メンテナンスノート」とともに、お車に保管してください。
- ・ お車をゆずられるときは、次のオーナーのために保証の有無にかかわらず取扱説明書、メンテナンスノートをお車につけておゆずりください。
- ・ 装備については販売店でカタログをご請求ください。
- ・ ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

車の仕様などの変更により、本書の内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

# 本書の見かた

## 表示やマークについて

### 安全に関する表示

車に乗っている人や歩行者を含めた他の人が傷害を受ける可能性のあることや車体が損傷する可能性があることを回避法とともに示しています。



**警告**

指示に従わないと、死亡、または重大な傷害を負う可能性があります。



**注意**

指示に従わないと、傷害を負う可能性があります。  
また、車体が損傷する可能性があります。

禁止行為はイラストに禁止マークが入っています。



イラストに左記のマークを記載して禁止事項を示しています。

### その他の表示



**アドバイス**

知っておくと便利なこと  
知っておいていただきたいこと



グレード等により異なる装備については  
よつばマークがついています。

# 本文の見かた

## タイトル

階層により区別してあります。

## ヘッダー

ページの内容を案内しています。

## ツメタイトル

各章のタイトルを案内しています。



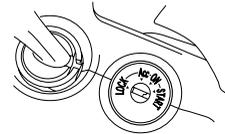
前ページ参照。

スイッチの使いかた

## スイッチの使いかた

### エンジンスイッチ

#### ■各位置の働き



300109

LOCK (ロック)	キーの抜き差しができる位置 キーを抜くとハンドルがロックされます
Acc (アクセサリー)	エンジン停止時、次のものが使用できる位置 ワイパー、フォグランプ、オーディオ、電源ソケット
ON (オン)	エンジン回転中の位置 全ての電装品に作動電源が供給されます
START (スタート)	エンジンを始動する位置

3-2

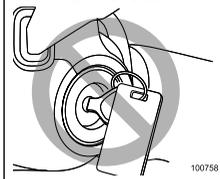
### 警告

走行中「LOCK」にしないでください。キーが抜けるとハンドルがロックされ、操作できなくなり、重大な事故につながるおそれがあります。

### 注意

- キーグリップにキーホルダーや他のキーがかさなると、膝や手などが当たり、キーを回してしまうおそれがありますので注意してください。大型のキーホルダーはキーに付けられないでください。テコの原理で小さな力でも回ってしまうおそれがあります。
- キーホルダーや他のキーを多数付けないでください。又、重いものをキーに付けないでください。車両の動きにより遠心力が働き、キーを回してしまうおそれがあります。

キーグリップにキーホルダーやアクセサリーがかさなっているとき



100750

## 警告

前ページ参照。

## 注意

前ページ参照。

## フォグランプスイッチ

ライティングスイッチが●または■のとき、レバー内のスイッチを○の位置に回すとフォグランプが点灯します。点灯中はメーター内の表示灯が点灯します。スイッチをOFFの位置に戻すと消灯します。



300019

## アドバイス

フォグランプ（霧灯）は光束が拡散するように設計していますのでヘッドランプの代わりにはなりません。また、使用方法を誤ると、まわりの車や対向車へ迷惑をかけることとなります。郊外や山間部での濃霧などで見通しが悪いときだけ使用してください。

運転するとき

3-9

## アドバイス

前ページ参照。

このページはサンプルページです。記載されている内容は実際のお車とは異なります。

# 検索について

本書では、色々な方法で目的のものを検索できるようにしてあります。

エアコンの使い方は？

## 4 室内装備品の使いかた

- ・ヒーターとエアコン
- ・吹き出し口の調整 ..... 4-2
- ・吹き出し口の空気循環 ..... 4-4
- ・フロントヒーターの使いかた ..... 4-5
- ・リアヒーターの使いかた ..... 4-7
- ・エアコンの使いかた ..... 4-8

### タイトルから探す

本書の構成  
ツメタイトル  
各章の目次

ワイパーを動かしたい



### 場所から探す

イラスト目次 ..... 0-1 ページ



何か点いているぞ？  
困ったな...

### 警告灯から探す

警告灯一覧 ..... 0-8 ページ

小物入れ ..... 4-41  
コンソールボックス ..... 4-38

シートの調整方法は？

CDプレイヤー ..... 4-12  
シート ..... 2-32  
シートの調整 ..... 2-34  
シートベルト ..... 2-45  
シートベルト警告灯 ..... 2-49, 3-27  
シートベルトの高さ調整 ..... 2-49

セレクトポジ  
セレクトレバ  
洗車のしかた  
センターアン  
センターコン

速度計（スピ  
た  
タイトコーナ  
タイヤおよび  
タイヤ空気圧  
タイヤ交換・  
タイヤチェ  
タイヤローテ

### 名称から探す

さくいん ..... さくいん-1 ページ

# 本書の構成

本書は次の8章から構成されています。

とくに第1章の「必読！安全で快適な 運転のポイント」は重要です。

しっかりとお読みください。

## イラスト目次

イラストから説明ページが検索できます。

### 1章 必読！安全で快適な 運転のポイント

「重大な傷害や事故・車両火災におよぶおそれがあること」および「一般的な注意」と、その回避方法および重要ポイントを記載しています。重要ですので必ずお読みください。

### 2章 運転する前に

はじめてこのお車にお乗りいただく方のために、ドアの開閉、シート、シートベルト、SRSエアバッグ等の取り扱い上の説明と注意をしています。

### 3章 運転するとき

スイッチ類の使いかた、メーター表示の意味、安全装置等、運転装置の取り扱い上の説明と注意をしています。

### 4章 室内装備品の使いかた

室内装備品とエアコン・オーディオ等の快適装備についての取り扱い上の説明と注意をしています。

### 5章 寒冷地での使いかた

季節による取り扱い、運転方法などについて説明しています。

### 6章 万一のとき

故障やパンクしたときなど、万一のときに必要な処置方法について説明しています。

### 7章 車の手入れ

お車の手入れのしかたと日常点検について説明しています。

### 8章 サービスデータ

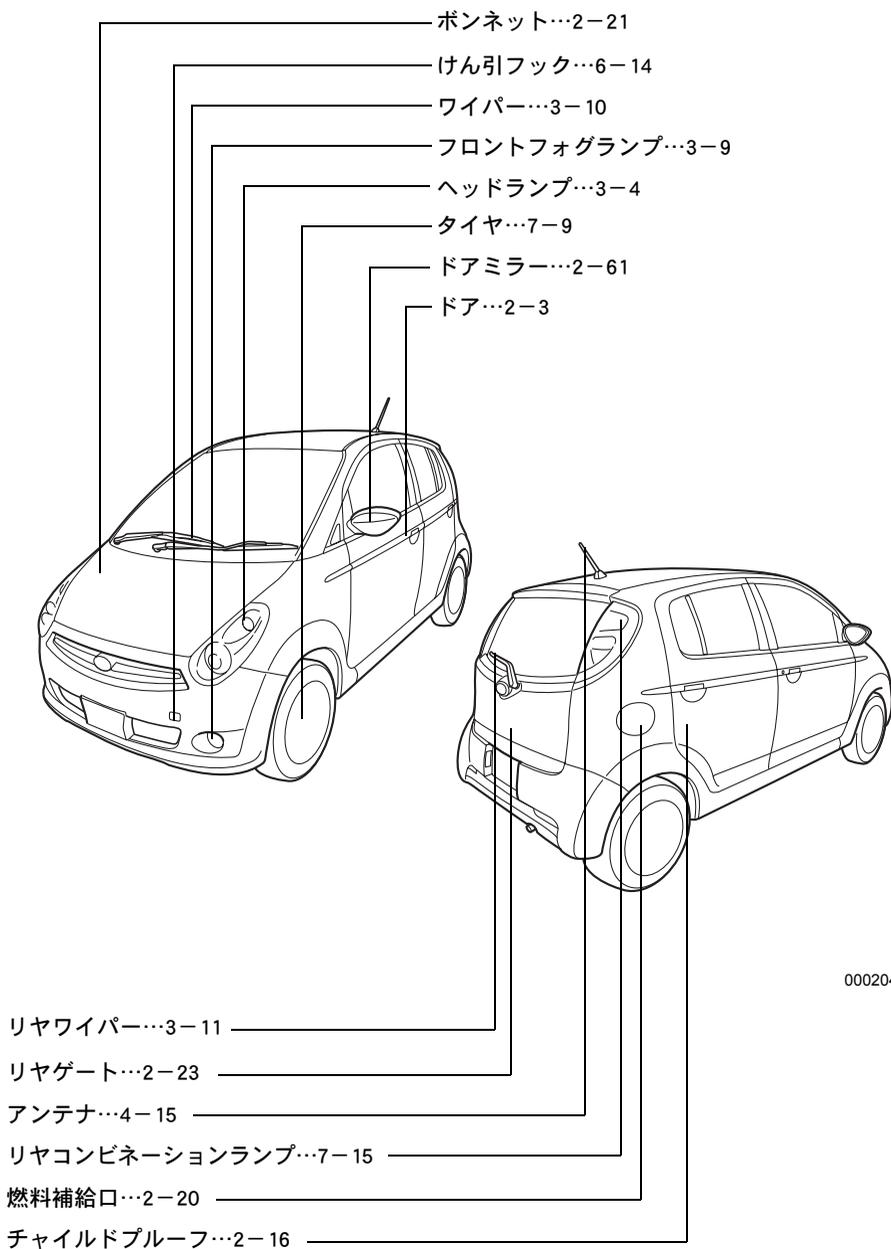
車のお手入れ整備に必要なデータを表で示しています。

## さくいん

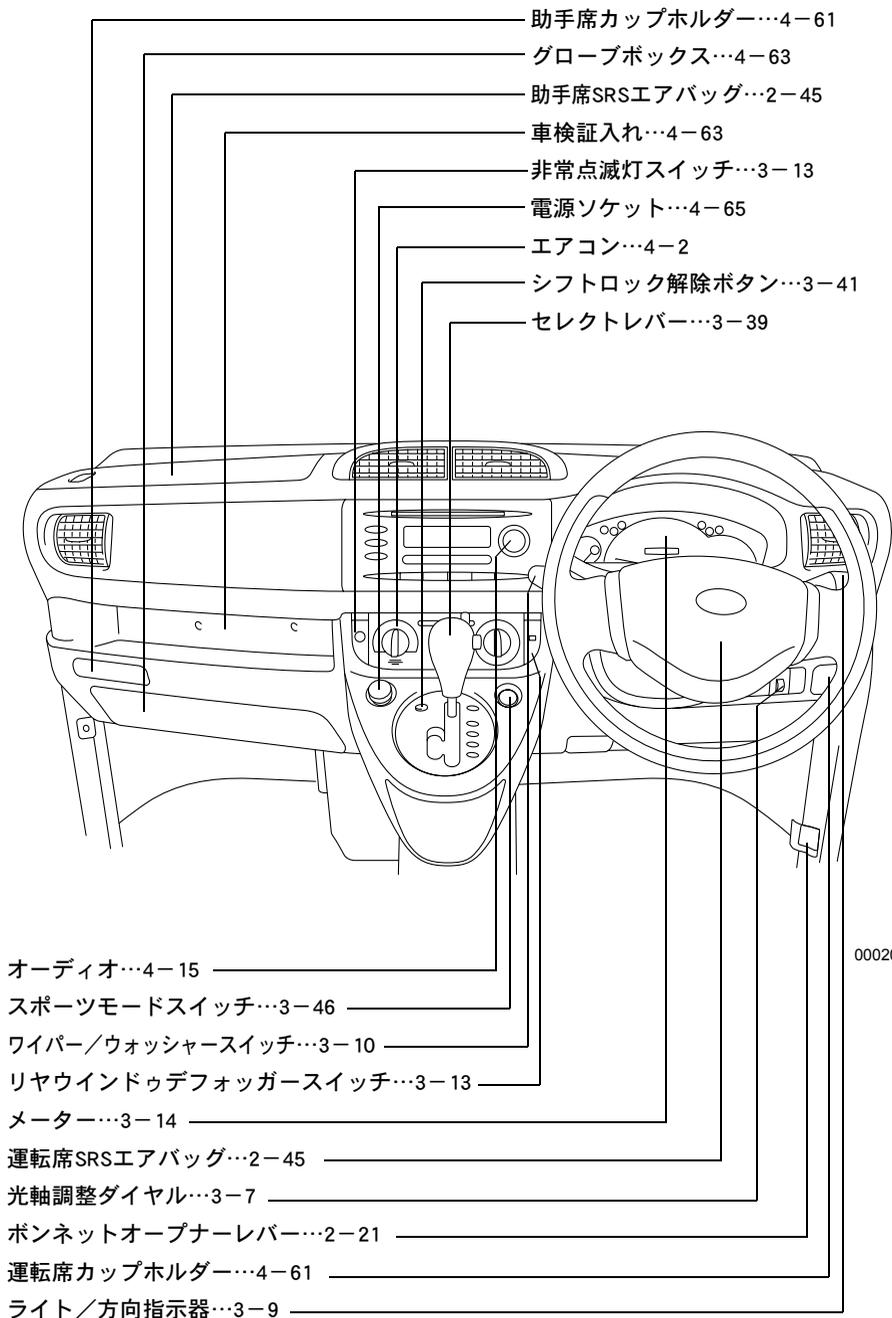
用語を五十音順で検索できます。

# イラスト目次

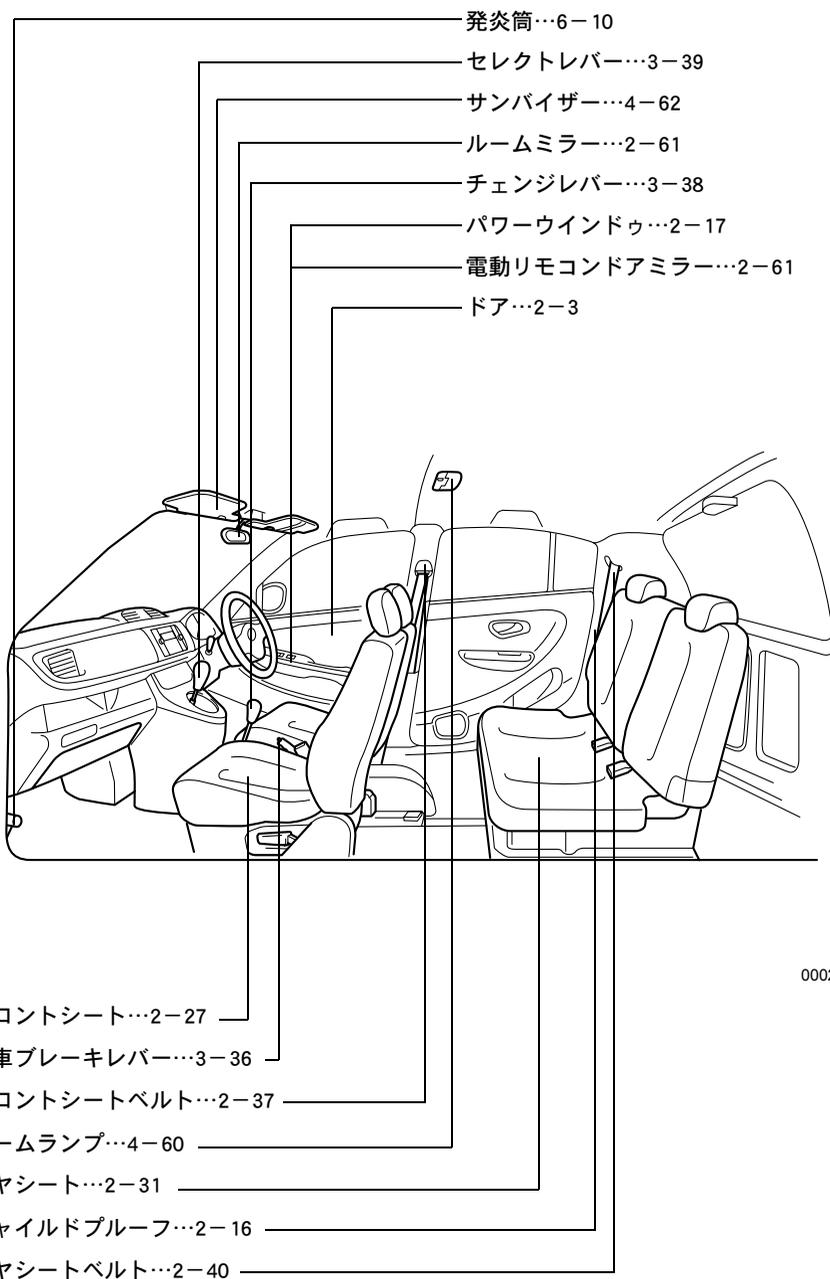
## 外観



## インストルメントパネル

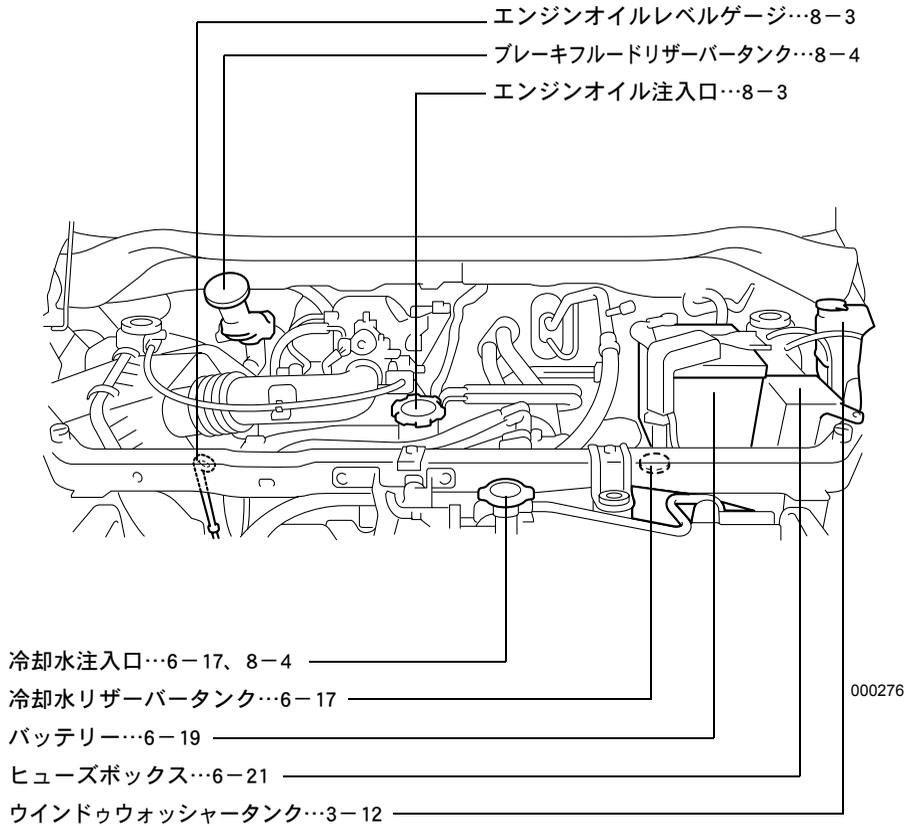


## 室内



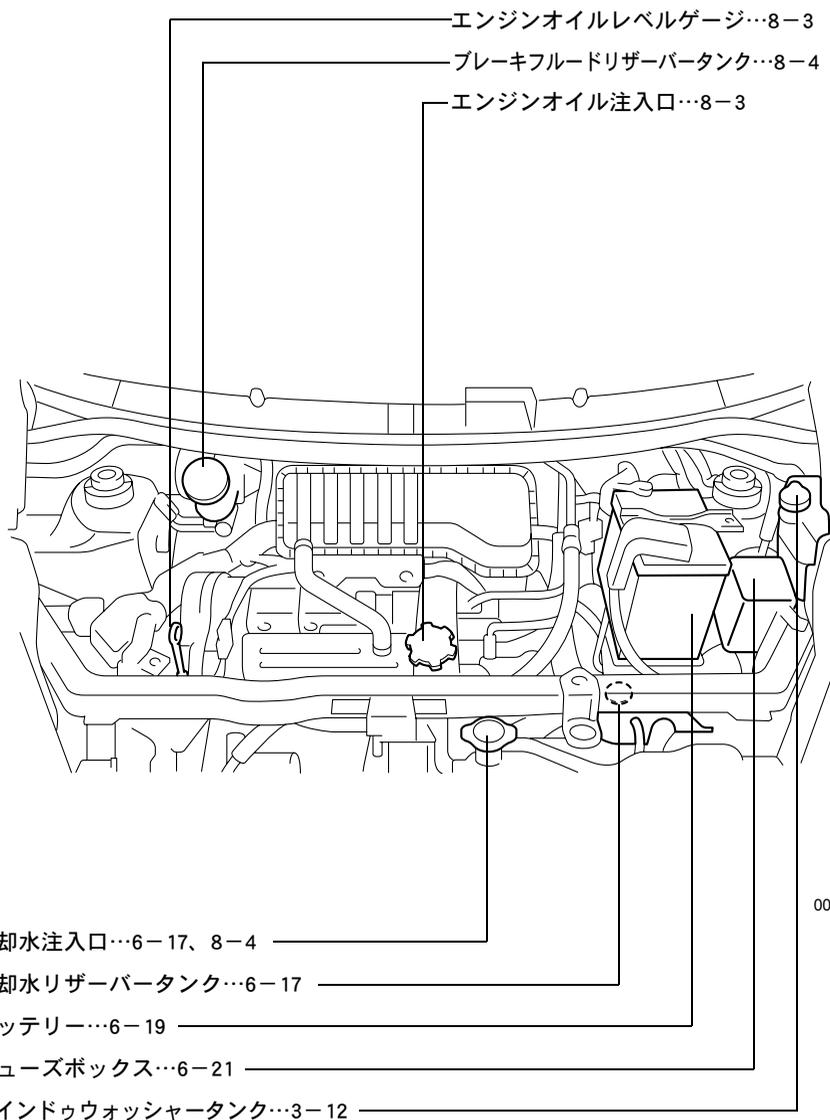
## エンジンルーム

&lt;i&gt;



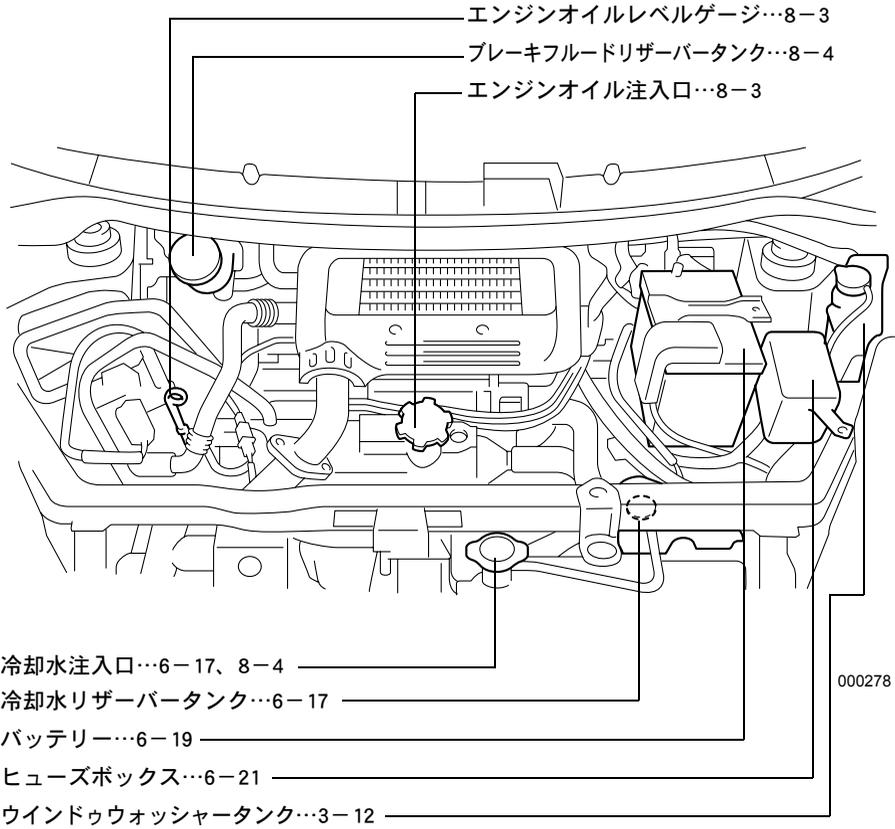
## エンジンルーム

<R>

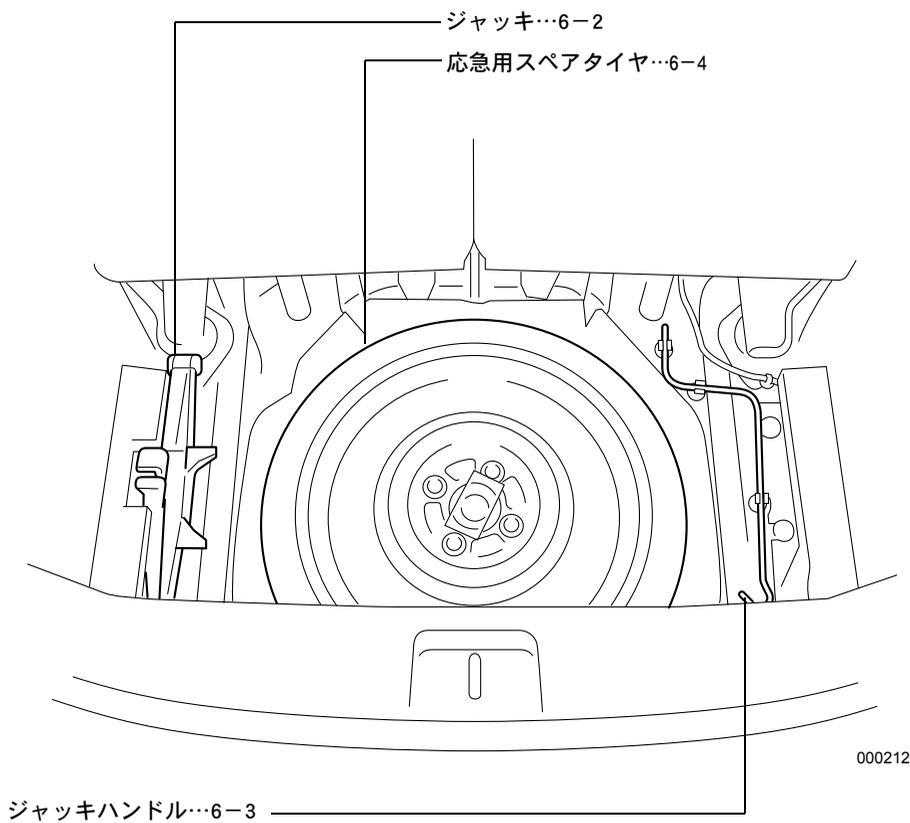


## エンジンルーム

&lt;S&gt;



荷室



## 警告灯一覧

 <p>ブレーキ警告灯 ..... 3-30</p>	 <p>エンジン警告灯 ..... 3-32</p>
 <p>シートベルト警告灯 ..... 3-30</p>	 <p>燃料残量警告灯 ..... 3-32</p>
 <p>ABS警告灯 ..... 3-30</p>	 <p>水温表示灯 / 水温警告灯 ..... 3-32</p>
<p><b>AIR BAG</b></p> <p>SRSエアバッグ 警告灯 ..... 3-31</p>	<p><b>STEERING</b></p> <p>ステアリング制御 警告灯 ..... 3-33</p>
 <p>オイルプレッシャー警告灯 ..... 3-31</p>	 <p>オートヘッドランプレベラー 警告灯 ..... 3-33</p>
 <p>チャージ警告灯 ..... 3-31</p>	

## 表示灯一覧

	<p>方向指示器表示灯 ..... 3-24</p>		<p>セレクトポジション表示灯 (i-CVT車) ..... 3-25</p>
	<p>ビーム・パッシング表示灯 ..... 3-24</p>		
<p><b>ECO</b></p>	<p>Info-ECOモード 表示灯 ..... 3-24</p>		<p>SPORT (スポーツ) モード 表示灯 ..... 3-25</p>
	<p>シフトポジション表示灯 ..... 3-24</p>	<p><b>SPORT</b></p>	
			<p>ライティング スイッチ表示灯 ..... 3-25</p>
			<p>フロントフォグランプ表示灯 ..... 3-26</p>

# 1

## 必読！安全で快適な 運転のポイント

- ・お車をお使いいただく上で ..... 1 - 2
- ・お出かけ前には ..... 1 - 3
- ・お子さまを乗せるときの気くばり ..... 1 - 7
- ・i-CVT車の特徴と運転上の注意 ..... 1 - 10
- ・走行するときには ..... 1 - 14
- ・雪道走行するときには ..... 1 - 19
- ・駐・停車するときには ..... 1 - 20
- ・SRSエアバッグシステムについて ..... 1 - 22
- ・燃料補給時の注意 ..... 1 - 24
- ・こんなことにも注意を ..... 1 - 25
- ・保証書・メンテナンスノートについて ..... 1 - 29
- ・環境にやさしい運転 ..... 1 - 30

# お車をお使いいただく上で

## ユーザーカスタマイズ機能

お客様のお好みにより、以下の機能を設定できます。スバル販売店にて変更することができますので、詳しくはスバル販売店にご相談ください。

項目	機能の内容	設定	初期設定	参照ページ	
キーレス エントリー	ハザードアンサー バックの作動	作動あり／作動なし	作動あり	☆2-4 ページ ☆2-12 ページ	
	自動施錠の作動 (スマートキーレス システム付車は除く)	30秒後作動／15秒後作 動／7秒後作動／作動 なし	30秒後 作動	☆2-4 ページ	
	ルームランプ アンサーバック の作動 (※3)	ロック操作時 徐々に消灯／1回 点滅／作動なし		徐々に 消灯	☆2-4 ページ ☆2-12 ページ
		アンロック操作時 (※1) 自動施錠の設定時間 点灯／2回点滅／ 作動なし		自動施錠の 設定時間 点灯 (※1)	☆2-4 ページ ☆2-12 ページ
スマート キーレス システム (※2)	スマートロックの 作動時間	短 (約2～3秒後) / 長 (約4～6秒後)	短 (約2～ 3秒後)	☆2-12 ページ	
キー閉じ込み 防止	キー閉じ込み防止 の作動	作動あり／作動なし	作動なし	☆2-7 ページ	
ルームランプ	ルームランプオフ ディレイの作動	30秒点灯後徐々に消灯 ／徐々に消灯／30秒点 灯後消灯／消灯	30秒点灯後 徐々に消灯	☆2-4 ページ ☆2-12 ページ ☆4-60 ページ	

※1 スマートキーレスシステム付車は「30秒点灯／2回点滅／作動なし」の設定となります。初期設定は「30秒点灯」となります。

※2 スマートキーレスシステム付車には以下の機能設定があります。お車の使用状況に応じて、お客様ご自身で機能の設定を変更することができます。

- スマート機能の停止
  - 施錠忘れ防止ブザーの作動
- 詳しくは2-14 ページをご覧ください。

※3 「ロック操作時」と「アンロック操作時」は別々に設定することができません。

## 点検整備を実施して

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

☆別冊のメンテナンスノート参照

## タイヤ空気圧を点検して

タイヤ空気圧の点検は法律で義務づけられています。タイヤ空気圧は応急用スペアタイヤも含め、空気圧ゲージを使用してドライブの前や、定期的（最低月1回程度）に点検・調整してください。タイヤ空気圧が不足したまま走行すると走行不安定やタイヤのバースト（破裂）を招き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

☆7-9、8-6ページ参照

## バッテリーの液量はときどき点検して

バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、または充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。バッテリーの液量はときどき点検し、少ない時は上限（UPPER LEVEL）まで補充してください。

☆別冊のメンテナンスノート参照

## 正しい運転姿勢に調整して

走行前にシート、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調整し、ドアミラー、ルームミラーなどを適切な位置に調整してください。

☆2-25、2-61ページ参照



100028

## シートベルトは全員正しく着用して

- 走行する前に必ず全員がシートベルトを正しく着用してください。
- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。
- SRS エアバッグは、シートベルトの補助装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

☆2-34ページ参照



100029

## 運転席の足元はすっきりと

- 足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルの下に物が挟まってブレーキ操作ができなくなることがあります。
- フロアマットは車に合ったものを正しく敷いてください。また、ずれないように固定クリップなどで固定してください。アクセルペダルやブレーキペダルに引っかかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



100230

## サンダルでの運転はやめて

厚底靴やサンダル、下駄での運転は、アクセルペダルやブレーキペダルが思うように踏み込めなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 室内に荷物を積むとき

荷物はできるだけ低くし、背当ての高さ以上に積まないでください。ブレーキを踏んだとき荷物が移動し、思わぬ事故につながる可能性があります。



100231

## ルーフに荷物を積むとき

- ルーフに荷物を積むときは、別売の斯巴ル純正ルーフキャリアおよびアタッチメントを使用してください。斯巴ル純正品以外をしますと、車体に損傷を与えることがあります。
- 走行中荷物が落下すると危険ですので、確実に荷物を固定してください。
- 固定方法や最大積載量については、ルーフキャリアおよびアタッチメントに付属の取扱説明書を必ずお読みください。



100760

## インストルメントパネルの上やスイッチの近くに物を置かないで

- インストルメントパネルの上に物を置いたまま走行しないでください。運転者の視界を妨げたり、発進時や走行中に動いて安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スイッチの近くに物を置かないでください。走行中に突然スイッチが押され、思わぬ機能が作動したり、スイッチの押されかたによっては、故障や加熱・火災の原因になります。
- SRS エアバッグが作動したときの衝撃で物が飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

☆2-48ページ参照



100232

## 危険物の持ち込みはやめて

燃料の入った容器や可燃性ガス入りスプレー缶、ガスライターなどは炎天下で車内が高温になったとき火災の原因につながるおそれがあります。また、万一事故が起きたときにも危険です。



100233

## 換気に気をつけて

車庫など換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。換気が不充分になり、排気ガスにより一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



100761

## 車の後ろに気をつけて

- お子さまや障害物など、車のまわりの安全を充分確認してください。
- 燃えやすい物があると、排気管や排気ガスの熱により火災になるおそれがあります。



100762

## 燃料には無鉛ガソリンを

- 無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンを使うと触媒を劣化させます。
- 粗悪なガソリンや軽油、アルコール燃料等の不適切な燃料やガソリン添加剤は、エンジンの各部に悪影響を与えますので使用しないでください。
- 無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

☆1-24ページ参照

## こんなとき、 スバル販売店で点検を受けて

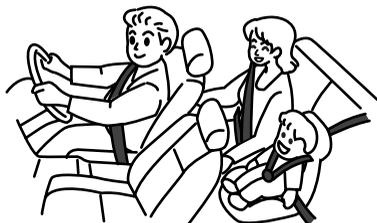
次の場合は車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

- いつもと違う音やにおいや振動がするとき
- ハンドル操作に異常を感じたとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき
- 各警告灯が点灯・点滅したままのとき

## お子さまは後席に

助手席ではお子さまの動作が気になったり、お子さまが運転装置にさわって思わぬ事故につながるおそれがあります。お子さまは後席にすわらせて必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトが首や顔に当たるなど適正な着用ができない場合はチャイルドシートを後席に取り付けて使用してください。後席がお子さまにとって最も安全な乗車位置です。

☆2-50ページ参照



100036



100234

## チャイルドシートを使用して

- シートベルトが首や顔に当たるなど適正な着用ができないお子さまの場合、チャイルドシートを使用してください。
- 法律により6歳未満のお子さまを対象に、チャイルドシートの使用が義務づけられています。6歳未満のお子さまは必ずチャイルドシートを使用してください。

### 〈選択の目安〉

	ベビーシート	チャイルドシート	ジュニアシート
体重 (目安)	9 kg以下	9～18 kg	18～36 kg
身長 (目安)	70 cm未満	100 cm未満	145 cm未満
年齢 (目安)	0か月～ 9か月頃まで	4か月～ 4歳頃まで	4歳～ 12歳頃まで

- チャイルドシートは後席に取り付けてください。
- 助手席にチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。SRSエアバッグが作動したとき、強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドシートはお子さまを乗せていない時でも確実にシートに固定しておいてください。また、荷室に収納する場合でもロープなどを利用して固定してください。固定しないまま客室または荷室に放置すると、ブレーキをかけた時などにチャイルドシートが動き乗員や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必読！安全で快適な運転のポイント

## お子さまにも 必ずシートベルトを

- お子さまにもシートベルトを適正な位置に調整し着用させてください。適正な位置でシートベルトを着用できないお子さまにはチャイルドシートを使用してください。
- 膝の上でお子さまを抱いても、衝突したとき充分に支えることができず、重大な傷害につながるおそれがあります。



100234

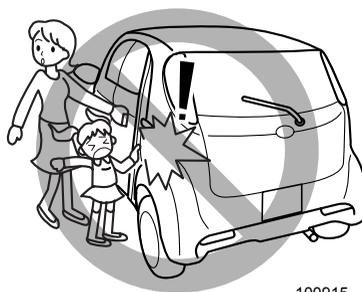
- シートベルトは一人用です。お子さまを抱いたままシートベルトの着用は絶対にしないでください。
- お子さまをSRSエアバッグの前やシートの上に立たせた状態では走行しないでください。



100037

## ドアの開閉に注意して

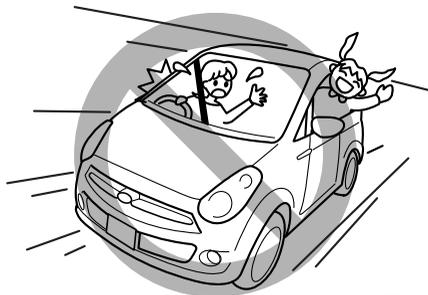
- ドアの開閉、施錠は必ず大人が行ってください。ドアを開閉するときはお子さまの手や足などを挟まないように注意してください。また、お子さまを後席に乗せたときは、安全のためにチャイルドブルーフをご利用ください。
- ☆2-16ページ参照
- ドアハンドルを操作するときには、爪などを挟まないようにご注意ください。
- ☆2-3ページ参照



100915

## 窓から顔や手を出させないで

走行中、車外のものなどに当たったり、急ブレーキ時に思わぬけがをするおそれがあり危険です。



100764

## パワーウィンドゥに 気をつけて

- パワーウィンドゥが閉まる時には大きな力が働きます。挟まれると危険ですので、閉める前にお子さまが窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 挟まれると危険ですので小さなお子さまには開閉操作をさせないでください。
- お子さまを乗せるときにはパワーウィンドゥのロックスイッチをロックにしておいてください。

お子さまがウィンドゥスイッチをいたずらして手や首を挟むことを防止します。

☆2-17ページ参照



100235

## 車から離れるときは一緒に

- とくに乳児など小さなお子さまや介護を必要とする方は車内に残さないでください。炎天下の車内は高温となり熱射病などにつながるおそれがあります。エアコンを作動させていても途中で止まることもあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 駐車ブレーキ等、運転装置のいたずらにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



100072

☆3-39 ページの「i-CVT車の運転」も併せてお読みください。

## クリーブ現象があります

- エンジンがかかっているとき、アクセルペダルを踏まなくても、ゆっくりと車が動き出す現象をクリーブ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルを踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時、ハンドル転舵時などは、自動的にエンジン回転数が上がるため、(アイドルアップ)クリーブ現象が強くなる場合がありますのでブレーキペダルを確実に踏んでください。  
必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。



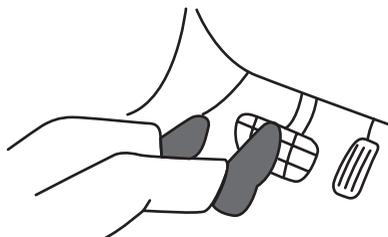
100765

## 強い加速を必要とするときキックダウンができます

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと自動的に低速ギヤ比へ変速します。これを「キックダウン」といい、強い加速力を必要とするときに使用します。
- スポーツシフト装着車でマニュアルモード選択時は、キックダウンは行われません。キックダウンを行う必要のあるときは、**D**に戻してください。

## ブレーキペダルは右足で

- エンジンをつける前にペダルの位置を確認してください。ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。慣れない左足でのブレーキ操作は緊急時の反応がおくれることがあります危険です。



100042

## セレクトレバーの操作は確実に

- 発進時、セレクトレバーの操作を行うときは、アクセルペダルを踏まずにブレーキペダルを踏みながら操作をしてください。
- エンジン始動後、セレクトレバーはブレーキペダルを踏まないと**P**から動かないようになっております。また、アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 誤発進防止のため後退した後は、すぐ**R**から一度**N**に戻す習慣をつけてください。

## セレクトレバー位置は目で確認

エンジンをかけるときは[P]、前進するときは[D]（後退は[R]）の位置にあることを目で確認してください。



100043

## 発進時、アクセルペダルの踏み込みはゆっくりと

アクセルペダルを急激に踏み込むと急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。発進時はゆっくりとアクセルペダルを踏み込んでください。

## 走行中はセレクトレバーを[N]にしないで

エンジンブレーキがまったく効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



100766

## 走行中（前進時）は、[R]にしないで

トランスミッションの損傷の原因になります。

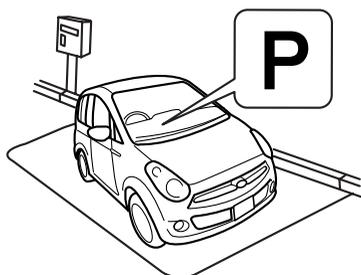
## 車が完全に止まらないうちに[P]に入れないで

トランスミッションの損傷の原因になります。

## 駐車するときはPにして、 駐車ブレーキを確実に

車が動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏むと急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。セレクトレバーをPにし、駐車ブレーキも必ずかけてください。

☆1-20ページ参照



100767

## 車から離れるときは エンジンを止めて

- クリープ現象で車がひとりでに動いたり、乗り込むとき誤って急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- セレクトレバーをPにして駐車ブレーキを確実にかけエンジンを切ってください。



100765

## 停車中は空吹かしをしないで

思わぬ事故につながるおそれがありますので、空吹かしをしないでください。



100768

## Rに入れるとブザーが鳴ります

Rに入れるとブザーが鳴り、Rであることを運転者に知らせます。車外の人に音は聞こえませんがご注意ください。

## シフトロックシステムがついています

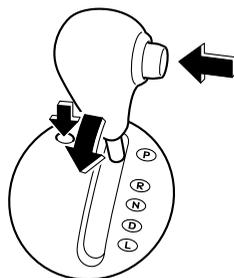
- [P]からのレバー操作は、エンジンスイッチをONにし、ブレーキペダルを踏まないとは操作できません。
- セレクトレバーを[P]位置から他の位置に操作するとき、先にセレクトレバーを手前に引いてからブレーキペダルを踏むとレバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、レバーを操作してください。
- [P]以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。( [P]以外ではキーをAccからLOCKに回せません。)

## [P]からのレバー操作ができないとき

エンジンスイッチがONでブレーキペダルを踏んだ状態でも操作できないときは、次の手順でシフトロックを解除してください。

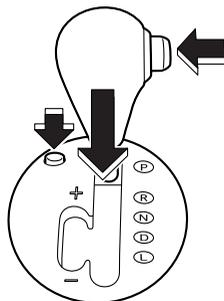
- ① 駐車ブレーキレバーを引きます。
- ② ブレーキペダルを踏みます。
- ③ シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーを操作します。

<スポーツシフトなし車>



100000

<スポーツシフト付車>



100001

この場合は、シフトロックシステムの故障が考えられますので、直ちにスバル販売店で点検を受けてください。

## タイヤ交換のときは

4輪のうち1輪でも異なるタイヤを装着していると、車両の駆動系の損傷につながるおそれがあり危険です。また、操縦性・ブレーキ性能を危険なものにし、事故につながる可能性がありますので、下記事項をお守りください。

- 4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 著しく摩耗したタイヤは使用しないでください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤの空気圧を指定空気圧に保ってください。
- 応急用スペアタイヤは、指定されたサイズを、指定した位置に装着してください。

なお、冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を装着するときも同様です。

☆6-4、7-9ページ参照

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずにハンドルを確実に握り、急ブレーキをかけずに徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
- 床下に衝撃を受けたときは安全な場所に直ちに車を止め、ブレーキ液や燃料の漏れ、オイル漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。やけどの危険がありますので排気管には触れないように点検してください。損傷や異常がある場合は、スバル販売店に連絡してください。



100769

## 走行中異常があったら

- 警告灯が点灯したら、直ちに安全な場所に停車し、スバル販売店に連絡してください。そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

☆3-27ページ参照

- ボンネット内部は高温になっています。ボンネットを開けてチェックするときは、高温部に触れないでください。やけどをすることがあります。エンジンの回転部分には絶対に触れないでください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- オーバーヒートしてエンジンルームから水蒸気が吹き出しているときは絶対にボンネットを開けないでください。

☆6-17ページ参照

## ペダルに足をのせたまま運転しないで

ブレーキペダルやクラッチペダルに足をのせたまま運転しないでください。ブレーキやクラッチの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。



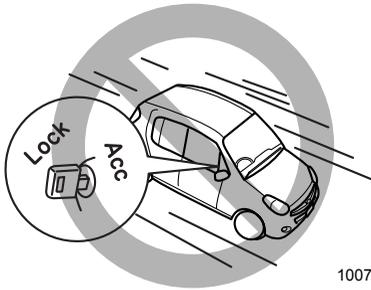
100236

## 走行中はエンジンスイッチを切らないで

- 走行中エンジンを止めるとブレーキブースター（制動力倍力装置）が効かなくなり、ペダルを踏むときに通常より強い力が必要となります。また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

☆3-54ページ参照

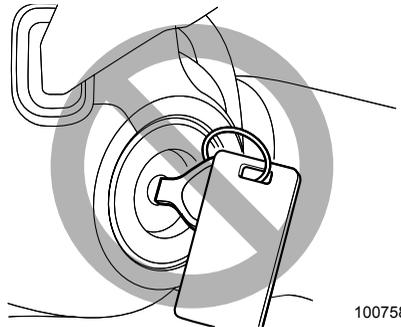
- 走行中エンジンを止めると触媒が過熱して焼損することがあります。
- 走行中LOCKにしないでください。キーが抜けるとハンドルがロックされ、操作ができなくなり、重大な事故につながるおそれがあります。



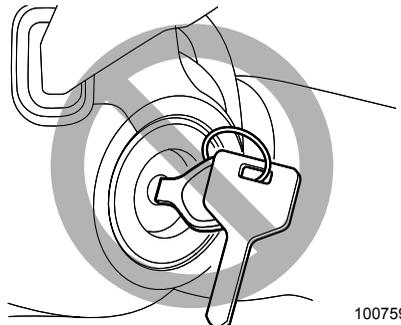
## キーホルダーや他のキーに気をつけて

- キーグリップにキーホルダーや他のキーがかさなると、膝や手などが当たり、キーを回してしまうおそれがありますので注意してください。大型のキーホルダーをキーに付けしないでください。テコの原理で小さな力でも回ってしまうおそれがあります。
- キーホルダーや他のキーを多数付けしないでください。また、重いものをキーに付けしないでください。車両の動きにより遠心力が働き、キーを回してしまうおそれがあります。

キーグリップにキーホルダーやアクセサリがかさなっているとき



キーグリップに他のキーがかさなっているとき



必読！安全で快適な運転のポイント

## ABSを過信しないで

ABSは必ずしも制動距離を短くするものではありません。

下記の道路などではABSが作動した場合、ABSが付いていない車よりも制動距離が長くなる場合があります。十分な車間距離をとって安全運転に心がけてください。

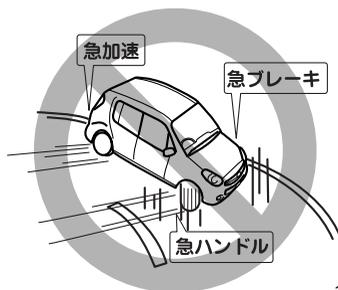
- マンホール、工事現場の鉄板などの滑りやすい路面
- 道路のつなぎ目などの段差
- 凹凸路、石畳などの悪路
- 下り坂での旋回
- 路肩に草や砂利が多い道路
- 砂利道
- 雪道（新雪路、圧雪路、凍結路など）

☆3-51ページ参照

## ぬれた路面や滑りやすい路面での走行は慎重に

とくに雨の降り始めは注意してください。また、急ブレーキ、急ハンドルなどやエンジン回転が急上昇するような急なシフトダウンは避けてください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

☆1-19ページ参照



100772

## 洗車後や水たまりを走行したあとはブレーキの効き確認を

水たまり走行後や洗車後、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。ブレーキの効きが悪い場合は前後の車に充分注意して低速で走行しながら効きが回復するまで、ブレーキペダルを数回踏んでください。



100771

## 雨天の走行は速度を落として

- 路面がぬれると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。速度を落として走行してください。とくに摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- 冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン損傷や車両事故につながるおそれがあります。

## 下り坂ではエンジンブレーキの併用を

- ブレーキペダルを踏み続けるとブレーキが過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。シフトダウンしてエンジンブレーキを併用してください。
- シフトダウンせずにエンジンの低回転領域でブレーキを使用し続けると、ブレーキブースター（制動力倍力装置）のアシスト力（補助力）が弱くなり、ブレーキペダルを踏むとき通常より強い力が必要となる場合があります。

☆3-54ページ参照

## 〈エンジンブレーキとは〉

走行中にアクセルペダルを戻したときに起こるブレーキ効果のことをいいます。低速ギヤに入れるほどよく効きますが、エンジン回転数がタコメーター（エンジン回転計）のレッドゾーンに入らないようにしてください。

## 〈シフトダウンとは〉

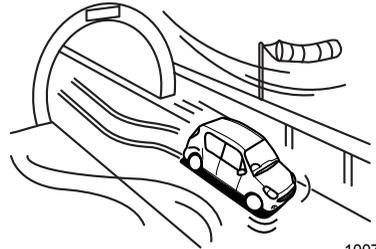
- マニュアル車では5→4、4→3、3→2、2→1のように低速ギヤへ変速することをいいます。
- i-CVT 車ではセレクトレバーを  にすると低速側に切り替わります。また、スポーツシフト付車で、マニュアルモード選択時は、マニュアル車同様7→6、6→5、5→4、4→3、3→2、2→1のように低速ギヤ比へ変速します。
- シフトダウンによる急激なエンジンブレーキは、進路状況や車間距離に注意して行ってください。

☆3-47ページ参照

## 横風に注意して

ハンドルを確実に握り、安全な速度で運転しましょう。

走行速度が速過ぎると、ハンドルを確実に握っていても不意の突風で車の進路が乱され、事故の原因になるおそれがあります。



100773

## 高速道路に入る前には

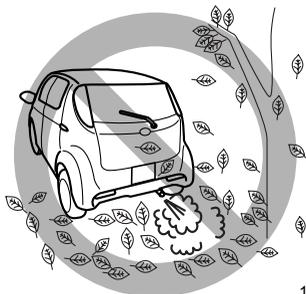
- 燃料は充分補給してください。とくに高速道路上での燃料切れは危険です。
- タイヤ空気圧を確認してください。空気圧不足の状態では高速走行するとタイヤがバースト（破裂）するおそれがあり大変危険です。

☆7-9、8-6ページ参照

- 万一のために停止表示板（または停止表示灯）を車に備えておいてください。停止表示板（または停止表示灯）の設置は法律で義務づけられています。（別売り）

## 燃えやすいものの上は 走らないで

排気管や排気ガスの熱により着火するおそれがあります。



100916

## こんなことにも注意してください

- 急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルは避けてください。
- 車間距離は充分とってください。
- スタック（立ち往生）したときなどはタイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 適切なエンジン回転数で運転を

- 新車の慣らし運転中（約 1,000 km まで）はエンジン回転をなるべく抑えてご使用ください。慣らし運転後はタコメーター（エンジン回転計）のレッドゾーン未満でご使用ください。  
タコメーターの付いていないお車は各変速ギヤ位置の上限速度を超えないように運転してください。
- エンジンの始動直後は、急激な空吹かしや急加速などをしないでください。

〈マニュアル車〉

変速位置	速度範囲
1速	0～25 km/h
2速	10～45 km/h
3速	20～70 km/h
4速	30～100 km/h
5速	40～100 km/h

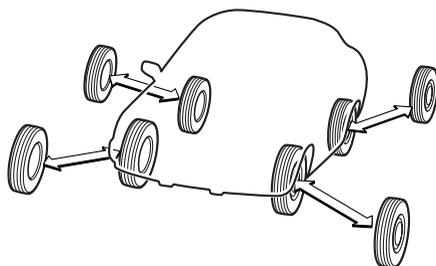
〈i-CVT車〉

- 0 km/h から最高速度まで自動的に変速しますので、制限速度内で走行してください。

## 4輪とも冬用タイヤで

- 雪道走行が予想される場合は冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を用意してください。
- 一般タイヤでは、雪道、凍結路でスリップし危険です。
- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）は、4輪とも必ず指定空気圧および指定サイズで、同一サイズ・同一メーカー・同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差の著しいタイヤは使用しないでください。

☆1-14ページ参照



100054

## タイヤチェーンは非常のときのみ前輪に

- タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
- ☆5-7ページ参照
- タイヤチェーンを取り付けると、前後輪の接地力バランスが変わるため、後輪が滑りやすくなります。後輪が滑り出すと、ハンドルで車の進路をコントロールすることが難しくなります。急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどを避けて路面の状況に合った安全な速度（30 km/h以下）で慎重に運転してください。



100775

## 控えめな運転に心がけて

- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を装着していても、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルは、避けてください。タイヤのグリップ力が失われ、車の進路をコントロールできなくなる場合があります。
- マニュアル車の発進時は、2速ギヤの使用をお奨めします。

☆5-5ページ参照

## 燃えやすいものの近くに 車を止めないで

- 枯れ草、紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、車を止めないでください。排気管や排気ガスの熱により火災につながるおそれがあります。
- 車の後ろに木材、ベニヤ板など燃えやすいものがあるときは、30 cm 以上離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスにより変色や変形を起こしたり、火災につながるおそれがあります。

## 坂道に駐車するときは

無人で車が動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。安全のため次の処置をしてください。

- ① 駐車ブレーキを充分にかけ、車が動き出さないことを確認します。

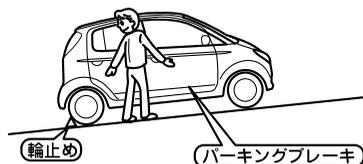
☆5-6ページ参照

- ②マニュアル車：チェンジレバーを以下の位置に入れます。  
下り坂；“R”  
登り坂；“1”

i-CVT車：セレクトレバーを **P** 位置に入れます。

- ③輪止め(石やタイヤストッパー)をします。

なお、急な坂での駐車は避けてください。



100776

## 車の移動はエンジンをかけて

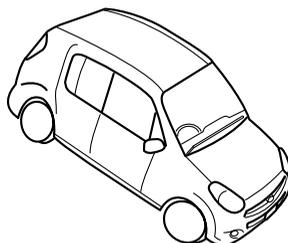
必ずエンジンをかけて移動してください。エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、ブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車から離れるときは必ず駐車 ブレーキをかけ、エンジンを 切り、必ず施錠を

- 無人で車が動き出したり、車両盗難や貴重品盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



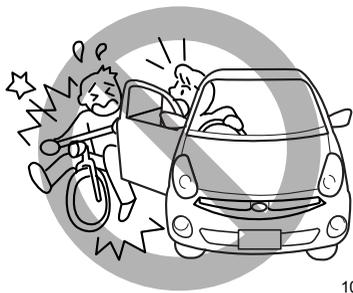
ロック



100777

## いきなりドアを開けないで

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認してください。後ろから車、オートバイ、自転車などがきている場合があります。思わぬ事故につながるおそれがあります。



100778

## 仮眠するときは必ずエンジンを止めて

仮眠中に無意識にアクセルペダルを踏み続けたり、チェンジレバー、セレクトレバーを動かしたりして思わぬ事故やオーバーヒート、火災につながるおそれがあります。また、風通しのよくない場所では一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



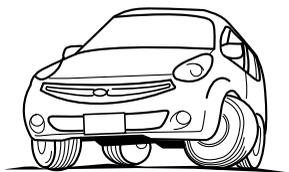
100059

## 雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは、エンジンをかけたままにしないでください

エンジンをかけた状態で車のまわりに雪が積もると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。危険です。

## ハンドルをいっぱい切った状態を長く続けないで

車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱい回した状態を長く続けないでください。(5秒以上続けないでください。)ハンドル操作が重くなることがあります。



1007779

必読！安全で快適な運転のポイント

## SRSエアバッグシステムとは

- 運転席、助手席 SRS エアバッグシステムは、エンジンスイッチがONのとき車両が前方から強い衝撃を受けた場合のみ作動します。この装置は運転者および助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげるシートベルトの補助装置で、横方向や後部からの衝突、あるいは横転などの衝撃では作動しないよう設定されています。
- SRSサイドエアバッグは、エンジンスイッチがONのとき車両が側面から強い衝撃を受けた場合のみ作動し、運転者および助手席同乗者への側面からの主に胸部にかかる衝撃をやわらげる装置です。

### <運転席SRSエアバッグ>



100061

### <助手席SRSエアバッグ>



100062

### <SRSサイドエアバッグ> ❀



100074

## シートベルトは必ず着用して

- SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。SRSエアバッグシステムだけでは身体の飛びだしなどを防止できないばかりか、エアバッグ本体からの衝撃を直接受けてしまいます。
- シートベルトを正しく着用し、正しい運転（乗車）姿勢をとらないと、衝突などのとき、SRSエアバッグシステムの効果が充分発揮されず、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。
- 同乗者も必ずシートベルトを着用してください。

☆2-34ページ参照

## お子さまを乗せる場合は

- お子さまは後席に乗せてください。
- チャイルドシートは後席に取り付けてください。
- シートベルトが首や顔に当たるなど適正な着用ができないお子さまには、スバル純正チャイルドシートを使用してください。スバル純正チャイルドシートの使用方法は付属の取扱説明書をご覧ください。
- 助手席にチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。  
SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受け、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。

☆1-7、2-42ページ参照



## 指定燃料を必ずご使用ください

- 無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンを使うと触媒を劣化させます。
- 給油時に指定されている燃料であることを確認してください。

☆1-6ページ参照

- 指定以外の燃料（粗悪なガソリン、アルコール燃料など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングが発生したり、出力が低下する場合があります。また、そのまま使うとエンジンや燃料系統部品を損傷するおそれがありますので、指定燃料以外は使用しないでください。

## 燃料補給時には次のことを必ずお守りください

- エンジンは必ず止めてください。
- 車のドア、窓は閉めてください。
- タバコを吸うなど火気を絶対に近づけないでください。
- フューエルキャップを開ける前に車体または給油機などの金属部分に触れて身体の静電気除去を行ってください。  
身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があります、やけどするおそれがあります。
- 必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくり左に回して開けてください。
- フューエルキャップはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると燃料補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルリッド、フューエルキャップを開けるなど給油操作は必ずお一人で行ってください。
- 給油中、ふたたび車内のシートに戻らないでください。（座ることで再帯電することがあります）

- 給油口に他の人を近づけないでください。
- セルフ補給のときの燃料補給は、給油ガンが自動停止した時点でお止めください。
- その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。
- 燃料補給後はフューエルキャップを“カチッ、カチッ”と音がするまで右に回し、確実に締まっていることを確認してください。
- 車に合ったスバル純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。
- 給油中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。塗装面を侵すおそれがあります。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

## 給油時に気化した燃料を吸わないようにしてください

燃料の成分には、有害な物質を含んでいるものもありますので、ご注意ください。

## クラッチ・スタートシステム について（マニュアル車）

マニュアル車にはエンジン始動時の誤操作防止機構（クラッチ・スタートシステム）が装着されています。

クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らずエンジンがかかりません。

☆3-35ページ参照

## AWD<sup>※</sup>車は 万能車ではありません

二輪駆動車に比べて滑りやすい路面、積雪路などではより安定した走行ができますが、急ブレーキ、急ハンドル時は差がありません。安全な速度で走行してください。

☆3-49ページ参照

※ AWD とは、All Wheel Drive（オールホイールドライブ＝全輪駆動）の略です。4輪車では4WD（四輪駆動）とも呼びます。

## 走行中は携帯電話を使わないで

法律により、自動車の運転者が走行中に携帯電話等を手で保持して通話したり、メールの送受信等のために画面を注視することは禁止されています。



100237

## アクセサリーの取り付けに注意

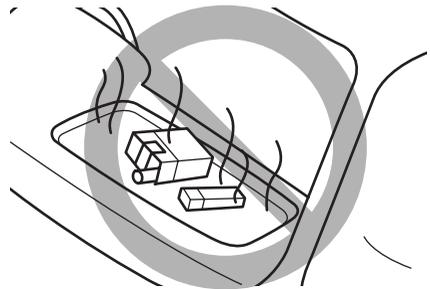
ウインドゥにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、助手席SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでけがをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



100238

## 車内にガスライター、スプレー缶等を放置しないで

炎天下で駐車するときは車内にガスライターやスプレー缶等を放置しないでください。車室内が高温になるためライターやスプレー缶等が爆発するおそれがあります。



100239

## 排気管をときどき点検して

排気管の腐食などによる穴や亀裂および継ぎ手部の損傷など、排気管の異常に気づいた場合は、必ずスバル販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



100780

## リヤゲートを確認して

リヤゲートが閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないまま走行すると排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

## ラジエターが熱いとき キャップを外さないで

ラジエターやリザーバタンクが熱いときはキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が吹き出すおそれがあり危険です。



100781

## 不正改造は絶対にしないで

- 車の性能や機能に適さない部品を取り付けたり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。火災など思わぬ事故につながる場合があります。
- スバルが国土交通省に届け出をした部品以外のものを取り付けると不正改造になる場合があります。スバル販売店にご相談ください。(タイヤ、ホイール、マフラーなど)

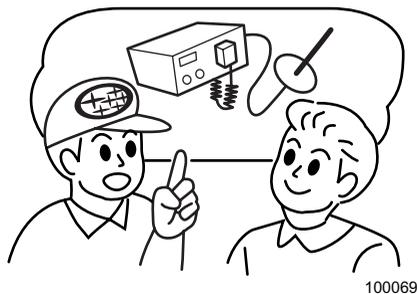


100350

## 電装品、無線機を取り付ける ときには

取り付け、取り扱いを誤ったり、スバル純正以外の部品を使用すると、電子制御系統に異常が起きたり、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

スバル販売店にご相談ください。



100069

## 純正部品をお奨めします



100070

マフラー、エアクリナーエレメント、オイル、冷却水、オイルフィルター、タイヤチェーンなどの部品は、スバル純正部品の使用をお奨めします。純正部品以外を使用すると保証を受けられない場合があるばかりか、故障の原因になることもあります。例えば、マフラーやエアクリナーエレメントの変更はエンジンの損傷を招くおそれがあります。純正部品は、スバル車に合うよう厳しい検査を実施して作られています。

詳しくは「保証書・メンテナンスノート」をご覧ください。

必読！安全で快適な運転のポイント

## 点検整備をするときは

- スバル販売店はスバル車を点検整備するための設備、技術、知識の全てを兼ね備えております。お客様が安心してお車をお乗り頂くためにも、点検整備はお近くのスバル販売店にご用命ください。
- 日常点検整備でエンジンルーム内の点検を行うときは、エンジン高温部、回転しているプーリーやベルト、自動的に回転する冷却ファンに充分ご注意ください。思わぬけがをすることがあります。
- AWD車でエンジンを回したまま点検を行うときは、車が動かないようにするため、必ず4輪ジャッキアップ、または4輪ローラー上で行い、空吹かしや急制動はしないでください。

# 保証書・メンテナンスノートについて

別冊の「メンテナンスノート」には、保証の内容および点検・整備について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

## 保証について

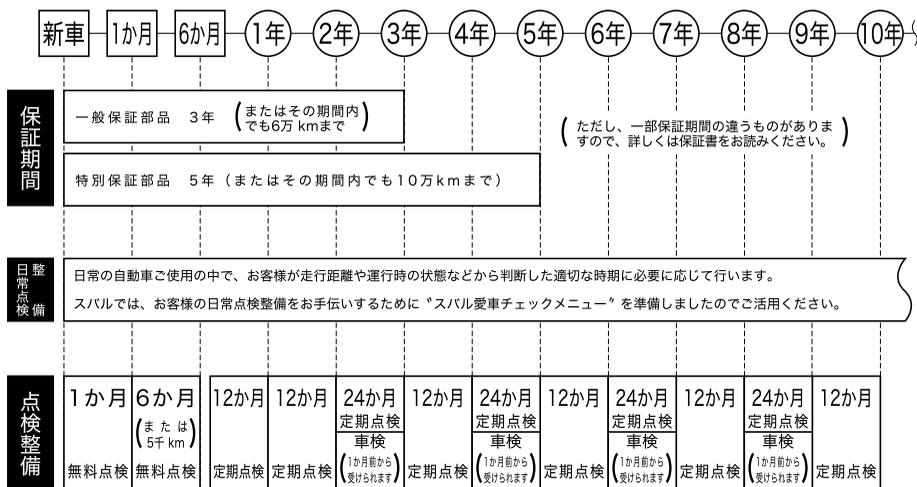
保証書には、万一故障が起きたときに無料で修理が受けられる条件や範囲が記載してあります。  
一度お読みになり、条件や範囲などについてご確認ください。

## 点検・整備について

- 法律で使用者に点検・整備の義務が規定されており、使用者の保守管理責任が明確にうたわれております。
- メンテナンスノートには点検・整備の時期ややりかたなどが記載してあります。よく読んで必ず行ってください。
- 日常点検整備や他の点検整備を行ったときは、必ずその結果をメンテナンスノートに記入しておいてください。
- 納車してから1か月後および6か月後（ただし、6か月以内に走行距離が5千 km を超える場合は5千 km 時点）に新車時点検を無料で実施しております。

必読！安全で快適な運転のポイント

## 保証期間と点検整備時期



100075

# 環境にやさしい運転

## 環境にやさしい 運転をするには

常にタイヤの空気圧を適正にしましょう。

走行する前に、 unnecessary 荷物は降ろしましょう。

長時間停車するときは、エンジンを止めましょう。

空吹かしはやめましょう。

エアコンの使用は、少し控えましょう。

発進や加速はスムーズにしましょう。

経済速度で走行しましょう。

- 一般道路や有料道路では、法定速度で走行すると燃費が良くなります。
- 下り坂や減速時には、エンジンブレーキを使いましょう。燃料噴射が停止し、燃費向上につながります。

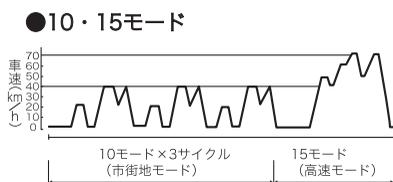
## 🏠 アドバイス

### 10・15モード燃費とは

車両カタログに記載されている「10・15モード燃費」とは、一定条件にしたがって測定した燃費です。

このモードは、市街地モード（10モード）と高速モード（15モード）の2パターンを測定したものです。

測定方法は、10の走行パターンを想定したテスト（市街地モード）を3回行い、続けて15の走行パターン（高速モード）を想定したテストを1回行います。

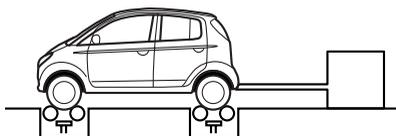


100639

平均速度：約23 km/h

走行距離：約4.2 km

この測定は実走行ではなく、測定装置（シャシーダイナモメーター）上に車両をのせて行います。



100782

「10・15モード燃費」は、都市内走行状態を想定して測定したもので、実際の走行とは異なる場合が多くあります。

例えば、天候や路面、車両重量、運転等に応じて燃費が異なります。